



<https://IoTCall.jp>

API マニュアル

APIでできること

あらかじめルールを作成いただくことで、お客様のシステムと連携して、下記のAPIをご利用いただけます。

① ルール発動

APIを通じて手動発動同様、ルールを発動することができます。

② 電話番号一覧取得

APIを通じて、対象ルールの現在の電話番号一覧を取得できます。

③ 電話番号の登録/更新/削除

APIを通じて、対象ルールへの電話番号の登録/更新/削除が行えます。(上書き)

④ 履歴の取得

APIを通じて、アカウント/ルールごとの架電・SMS送信履歴の取得が行えます。 **A** ~ **E**

⑤ 発動IDの取得

ユーザー管理画面内「管理者設定」にて、ルール発動通知先のお客様URLを指定することにより、ルールが発動された際、発動IDを通知します。

API連携 — 事前準備

お客様システムでAPIをご利用になる前に下記ご準備をお願いします。

A お客様アカウントのAuthCodeの確認

アカウント情報

例

ステータス	有効
ユーザー名	XXXXXXXXXX
所属名	XXXXXXXXXX
メールアドレス	XXXXXXXXXX
送信先メールアドレス	call-XXXXXXXXXX@iotcall.jp
Auth Code	MFhjT0s2ODIDWA==
サービス利用期間	2022-01-01 ~ 2024年1月28日

お客様管理画面(ダッシュボード)アカウント情報で確認いただけます。

C ルール内URLキーの確認

例

電話番号自動登録 通常 自動登録を行う <https://stg-user.iotcall.jp/ar/15XXXXXXXXXX28b89>

「電話番号自動登録」 ar/**URLキー**/
または、
「手動発動URL」mc/**URLキー**/
を参照願います。

B API対象のルール作成

- ◎ 「電話番号自動登録」は、「自動登録を行う」にチェックを入れてください。
この設定にて、電話番号の無記入でルールの保存(更新)が行えます。

電話番号自動登録 通常 自動登録を行う

- ◎ 「再生内容」は、「テキスト」にチェックを入れてください。
手動発動同様、APIではメールを取り扱いません。

再生内容 本文 件名 件名と本文 タグ テキスト

- ◎ 「発信種別」は任意の設定で構いませんが、「通常」以外は2つ以上の電話番号登録が必要になります。

発信種別 通常 一斉 一斉(誰か受電したら終了) 輪番
 輪番(受電者が「9」をプッシュで次へ継続架電)

① ルール発動

Http(s)

```
https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/call
```

METHOD	POST
HEADERS	Authorization:AuthCode

② 電話番号一覧取得

Http(s)

```
https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/tel
```

METHOD	GET
HEADERS	Authorization:AuthCode

3 電話番号の登録/更新/削除(上書き)

Http(s)

`https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/tel`

METHOD	PUT
HEADERS	Authorization:AuthCode Content-Type: application/x-www-form-urlencoded
BODY Form	call_to_tels[0][tel][Text]= call_to_tels[0][group][Text]= call_to_tels[0][check][Text]= call_to_tels[0][international_prefix_id][Text]=

複数電話番号を登録する場合は、電話番号分パラメータをセットする必要があります。

例

```

- 1件目
call_to_tels[0][tel]           08043391234
call_to_tels[0][group]        1
call_to_tels[0][check]        1
call_to_tels[0][international_prefix_id] 1

- 2件目
call_to_tels[1][tel]           08043391235
call_to_tels[1][group]        2
call_to_tels[1][check]        0
call_to_tels[1][international_prefix_id] 1

- 3件目
call_to_tels[2][tel]           08043391236
call_to_tels[2][group]        3
call_to_tels[2][check]        1
call_to_tels[2][international_prefix_id] 1
    
```

パラメータ [Text]= (必須)

1	tel	電話番号(一なしの連番)
2	group	電話番号のグループ(A~)
3	check	架電対象のチェック(あり:1 なし:0)
4	international_prefix_id	国番号(リスト順:1~)

ルール編集画面 電話番号登録項目でのパラメータ説明

番号	国
1	日本
2	アメリカ(本土)
3	アルゼンチン
4	イギリス
5	イタリア
~	
	+81 - 日本
	+1 - アメリカ(本土)
	+54 - アルゼンチン
	+44 - イギリス
	+39 - イタリア
	+91 - インド
	+62 - インドネシア
	+20 - エジプト
	+61 - オーストラリア/ココス/クリスマス島
	+31 - オランダ
	+1 - カナダ
	+82 - 韓国
	+30 - ギリシア
	+1 - グアム
	+57 - コロンビア
	+966 - サウジアラビア
	+65 - シンガポール
	+41 - スイス
	+46 - スウェーデン
	+34 - スペイン

4 履歴の取得

A ユーザーアカウントのすべての履歴を取得します。(URLキーの記入は不要です。)

Http(s)

通話履歴

`https://sys.iotcall.jp/pattern/callog`

Http(s)

SMS送信履歴

`https://sys.iotcall.jp/pattern/smslog`

METHOD	GET
HEADERS	Authorization:AuthCode Content-Type: application/x-www-form-urlencoded

通話履歴レスポンス例

```
{
  "status": "ok",
  "list": [
    {
      "to": "+818043391234",
      "status": "completed",
      "response_no": 1,
      "duration": "31",
      "start_time": "2022-07-15 04:07:40",
      "end_time": "2022-07-15 04:08:11",
      "memo": "これはテストです。",
      "rule_id": "0008200123",
      "code": "0015300264230816123459"
    },
    {
      "to": "+818043395678",
      "status": "completed",
      "response_no": null,
      "duration": "19",
      "start_time": "2022-07-15 04:14:57",
      "end_time": "2022-07-15 04:15:16",
      "memo": "これはテストです。",
      "rule_id": "0008200456",
      "code": "0015300264230816123559"
    }
  ]
}
```

荷電先
通話完了
応答番号
通話時間(秒)
通話開始時間
通話終了時間
備考
ルールID
ルール発動ID

SMS送信履歴レスポンス例

```
{
  "status": "ok",
  "list": [
    {
      "to": "+8180433990123",
      "status": "delivered",
      "created_at": "2022-07-15 03:54:41",
      "memo": "これはテストです。",
      "rule_id": "0008200123",
      "code": "0015300264230816556459"
    },
    {
      "to": "+818043394567",
      "status": "delivered",
      "created_at": "2022-07-15 04:07:35",
      "memo": "これはテストです。",
      "rule_id": "0008200456",
      "code": "0015300264234456123459"
    }
  ]
}
```

送信先
送信完了
送信日時
備考
ルールID
ルール発動ID



ルール発動IDとは、そのルールが発動されたIDです。
ルールID + 年下2桁 + 月2桁 + 日2桁 + 時2桁 + 分2桁 + 秒2桁

4 履歴の取得

B 特定のルールすべての履歴を取得します。(URLキーの記入は必要です。)

Http(s)
通話履歴 `https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/calllog`

Http(s)
SMS送信履歴 `https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/smslog`

METHOD	GET
HEADERS	Authorization:AuthCode Content-Type: application/x-www-form-urlencoded

レスポンスの内容は **A** 同様です。

C 特定のルールの直近の発動された履歴を取得します。(URLキーの記入は必要です。)

Http(s)
通話履歴 `https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/calllog/latest`

Http(s)
SMS送信履歴 `https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/smslog/latest`

METHOD	GET
HEADERS	Authorization:AuthCode Content-Type: application/x-www-form-urlencoded

注意! 最新の発動履歴の取得には、発動されてから10分程度必要です。

レスポンスの内容は **A** 同様です。

4 履歴の取得

D A・Bに対し、日時の範囲指定ができます。

Http(s)

ルールごとの通話履歴

```
https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/calllog?start_datetime=年月日時刻&end_datetime=年月日時刻
```

ルールごとのSMS送信履歴

```
https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/smslog?start_datetime=年月日時刻&end_datetime=年月日時刻
```

METHOD	GET		
HEADERS	Authorization:AuthCode Content-Type: application/x-www-form-urlencoded		
BODY Form	start_datetime= end_datetime=	パラメータ 例	2023-11-30 00:00:00 2023-11-30 23:59:59



年月日と時刻の間は半角スペース



- start_datetime および end_datetime は両方および片方の利用が可能です。
- 年月日のみの指定も可能です。

4 履歴の取得

E 発動IDを指定することにより、通話およびSMS送信履歴が取得できます。

Http(s)

発動IDごとの通話およびSMS送信履歴

`https://sys.iotcall.jp/pattern/URLキー/発動ID`

METHOD	GET
HEADERS	Authorization:AuthCode Content-Type: application/x-www-form-urlencoded

発動IDは、**5 発動IDの取得**にて取得できます。

例

```
{
  "status": "ok",
  "0": {
    "sms_logs": [
      {
        "to": "+818043390123",
        "status": "delivered",
        "created_at": "2022-07-15 04:14:51",
        "memo": "",
        "rule_id": "0008200123",
        "code": "0008200149220715041448"
      }
    ]
  }
}
```

SMS送信履歴

- ← 電話番号
- ← 送信完了
- ← 送信時間
- ← メモなし
- ← ルールID
- ← 発動ID

```
{
  "call_logs": [
    {
      "to": "+818043390123",
      "status": "completed",
      "response_no": null,
      "duration": "19",
      "start_time": "2022-07-15 04:14:57",
      "end_time": "2022-07-15 04:15:16",
      "memo": "",
      "rule_id": "0008200123",
      "code": "0008200149220715041448"
    }
  ]
}
```

架電履歴

- ← 電話番号
- ← 架電完了
- ← プッシュボタン返信なし
- ← 通話時間
- ← 通話開始時間
- ← 通話終了時間
- ← メモなし
- ← ルールID
- ← 発動ID

5 発動IDの取得

ユーザー管理画面内「管理者設定」にて、ルール発動通知先のお客様URLを指定することにより、ルールが発動された際、発動IDを通知します。

管理者設定

パスワード

パスワードの変更が不要な場合は空欄のまま更新してください

メールアドレス

2段階認証 (メール認証)

2段階認証を設定する

超過課金設定

架電時間上限を超えた場合、超過課金を認める

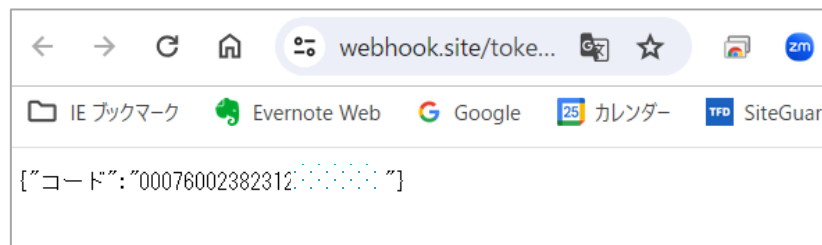
ルール発動通知

通知する

ルール発動通知URL

更新

例



ここで取得した発動IDを転用し、履歴が取得できます。



4 履歴の取得

発動IDを指定することにより、通話およびSMS送信履歴が取得できます。

API連携 — APIテストについて

APIテストについて

下記にて、Chromeブラウザ環境でAPIのテストを行うことができます。

- 1 Chromeプラグイン「Talend API Tester – Free Edition」を追加

<https://chrome.google.com/webstore/detail/talend-api-tester-free-ed/aejoelaoggembcahagimdiliamlcdmfm?hl=ja>

- 2 API対象のルールを作成 (P.3 Bを参照)

- 3 各APIのテストを行います。

The image shows two screenshots of the Talend API Tester interface. The left screenshot displays the request configuration for a GET method. The URL field contains 'https://', with a 'Missing URI' warning. The 'Send' button is visible. The 'HEADERS' section has a 'name' field with 'value' and an 'Add header' button. The 'BODY' section shows a warning: 'XHR does not allow payloads for GET request.' The right screenshot shows the response details for a '200 OK' status. The 'HEADERS' section lists: Server: nginx/1.17.3, Content-Type: application/json, Transfer-Encoding: chunked, Connection: keep-alive, X-Powered-By: PHP/7.4.0RC5, and Cache-Control: no-cache, private. The 'BODY' section shows a JSON response: { status: 'ok', message: '手動発信を行いました。' }. The interface is titled 'Talend API Tester – Free Edition'.

サービスに関するお問合せ先



株式会社ハイパーボックス
ドメインキーパー事業部ソリューション課
IoTコール™ 係



<https://www.iotcall.jp/contact.html>



03-5304-8161

ボリュームディスカウントや代理店契約、貴社提供サービスプラン企画など可能です。
お気軽にご相談ください。